

リハビリテーション科に過去に通院又は入院された
患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

日常生活記憶と実験室的記憶の就労転帰予測能の比較

[研究機関名・長の氏名]

北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名]

北海道大学病院 リハビリテーション部・小川 圭太

[研究の目的]

脳の損傷後、身体機能が回復しても言語・記憶・注意・思考・判断・感情など高次脳機能障害の影響により就労が困難となる場合があります。本研究では、過去に実施された神経心理学的検査の結果と退院後の就労状況との関係を調べることで、就労に関連する記憶機能の特徴を明らかにし、今後の神経心理学的リハビリテーションの発展に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2001 年 4 月 1 日から 2025 年 7 月 10 日までの間に当院に通院・入院された方のうち、以下のすべてに該当する方

- ・中枢神経系疾患（頭部外傷、脳血管障害、脳腫瘍、低酸素脳症、インフルエンザ脳症、脳炎）に対して作業療法を受けた患者さん
- ・2 種類の記憶力検査（言葉や図形の記憶を調べる検査、日常生活を想定した記憶の検査）が実施された方
- ・記憶力検査実施時の年齢が 18 歳以上の方
- ・退院後 6 か月時点の就労状況が診療録で確認できる方

○利用する情報

*以下の項目について 2026 年 1 月 10 日までの情報を利用させていただきます。

診断名、年齢、性別、中枢神経系疾患発症または受傷から記憶力検査実施までの期間、退院後 6 か月後の就労状況、記憶力検査結果（言葉や図形の記憶を調べる検査、日常生活を想定した記憶の検査）

2026 年 7 月 30 日（第 1.1 版）

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2026年8月頃)～2031年6月30日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 リハビリテーション部 担当者 宮下 聖史

電話 011-706-5740 FAX 011-706-7626